



2016-2017年度 For the Future, Act Today.

熱海クラブの底力に期待

東日本理事 利根川 恵子

2016-2017年度の始めにあたり、東日本区理事としてごあいさつできることをたいへんうれしく存じます。

熱海クラブにおかれましては、常に出席率100%を保ち、スタッフのいない熱海 YMCA を守り、中学生英語弁論大会、スキー教室、年賀はがきコンテスト等々、様々な CS 事業を展開し、会員同士の親睦にも努め、クラブとして他の模範となるような存在です。その結果が、東日本区大会における数多くの表彰に結びついているものと考えます。ここまでクラブを発展させていたメンバーのご努力と熱意に深甚の敬意を表します。

さて、東日本区に目を向けますと、ご承知のように、東日本区は会員数の減少、高齢化、財政のひっ迫などの課題を抱えております。そこで、今年度の理事の主題は、「明日に向かって、今日動こう」、スローガンは「手を取り合って、今、行動!」としました。前述の課題を解決するために、とにかく動こう、動かなければ何も始まらない、という気持ちです。そして、行動していただくための重点目標を以下の通りいたしました。

1. クラブ拡張と会員増強

会員数 1,000 名突破、2 クラブ新設、各クラブ退会者ゼロ、純増 2 名

2. 部の強化・活性化

部役員の役割の明確化、部内研修の実施、部長選出方法の見直し、部長公式訪問・部会の充実

3. YMCA との協働の強化

ワイズメンの YMCA 会員率 100%、YMCA との「協力関係の原則」の締結、新しい協働事業の立ち上げ

4. スリムな区の運営

部の強化・活性化と財政状況改善のため、3S(Simple, Slim, Speed)の促進、部、クラブレベルでも3Sの観点から運営の見直し

是非上記に掲げられた重点目標をご理解の上、鈴木恵次会長のリーダーシップのもと、熱海クラブならではのアプローチで、目標達成に向け、英知と底力を結集してください。特に栗本治郎・次期理事のホームクラブとして、今までの伝統を継承しつつ、クラブの運営や活動に新風を吹き込んで、東日本区をけん引する気概のあるクラブであっていただきたいと願っております。

今年度は東日本区設立 20 周年となり、東西ワイズ交流会、記念誌の発行等記念行事も計画されております。このような記念すべき年ですので、一層東日本区の発展に尽くしたいという思いに駆られます。どうか、みなさまの英知と底力をクラブばかりでなく、富士山部、東日本区の発展にもお貸しいただきますようお願いいたします。

会員増強

富士山部部长 増田 隆(富士クラブ)



熱海ワイズメンズクラブの鈴木恵次新会長の船出を心からお祝い申し上げます。会長主題であります「繋げよう!次世代にY'sの心」を掲げスタートしました熱海クラブは富士山部においては各クラブのリーダークラブであり東日本区においてもその実力と行動力、団

結力は群を抜いており名実ともに日本一のクラブと言っても過言ではないでしょう。現在45名の会員を有し、東日本区では最大級の熱海クラブでさえ事業計画の第1に掲げているのは『会員増強を第一に心がける。目標は「1人増」』です。何

と熱海クラブは5年先、いや10年先、20年先のクラブ像を考え、そしてそれを具現化するにはまず、会員増強があってクラブ運営が成り立つことをメンバーのみな様が自覚しているのが素晴らしいことだと思います。これはなかなか簡単にできることではありません。いつもながら熱海クラブの皆様の前向きな考え方と行動力には敬服いたします。

また、来年度は栗本ワイズが次期東日本区理事として就任いたします。富士山部からは久々の理事です。富士山部としてもサポート体制を確立して行きたいと思っております。熱海クラブの益々のご発展をお祈りします。

そして早く入会式が開催されることを楽しみにしています。

鈴木恵次丸出航合同記者会見開催

広報会報委員長 鈴木道夫

鈴木恵次会長丸出航の7月1日に熱海市内の小中学校校長会に深澤書記、梅田青少年委員長とともに小中学校対象事業への協力を依頼し、7月4日(月)には13:30から熱海YMCAセンターにおいて市内の熱海新聞社、伊豆毎日新聞社の報道機関に対し熱海グローリークラブとの合同記者会見を行いました。我々ワイズメンズクラブの青少年地域奉仕活動を市民にアピールし、知っていただきたいとの思いで報道各社を招待し毎年開催しております。熱海クラブからは鈴木恵次会長・山崎英史A副会長・深澤書記・

大川副書記・村上会計・二見直前会長・札埜幹事・八代幹事の出席があり、グローリークラブから谷口会長以下8名の出席をいただきました。

記者会見は山崎英史A副会長の開会の挨拶から始まり、今年度から例会場がKKRホテル熱海に変更になったこと、そして今年度の事業YMCAサマーキャンプ、ワイズドッジボール大会、YMCA英語スピーチコンテスト、年賀はがきコンテスト、YMCAスキー教室などの青少年事業の発表などを行い、札埜幹事の挨拶にて閉会致しました。



The Y's heart to next generation.

会長所信

第52代会長 鈴木 恵次

いよいよ、我が鈴木丸が出航いたしました。会員の皆様、1年間宜しくお願い致します。

昨年、二見直前会長に植えていただいた改革の芽を引き継いで繋げて

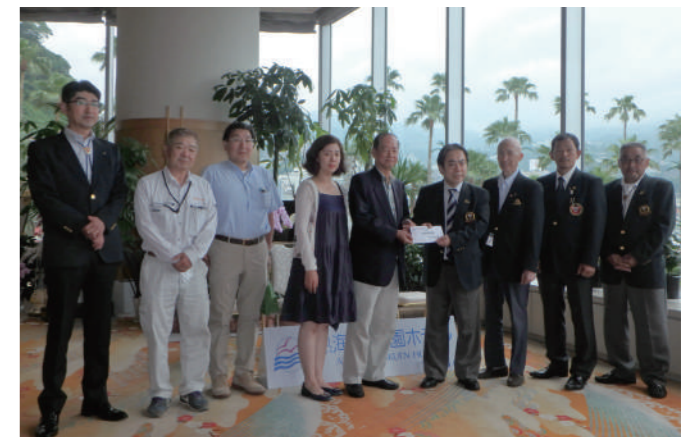
行きたいと思っております。ありきたりですが、まずは会員増強「一人一増」。クラブを活発に活性化するためにはどうしても必要な目標となります。身近な人達にワイズ活動を

知ってもらい、全員一丸となって目標を達成しましょう!! ワイズ活動を地域に広く知ってもらう為に、広報活動を強化し、若い力の台頭を押し進め、地域の次世代に対してもサポートをして行きたいと思っております。又、メンバー相互の信頼・友情を深める親睦活動も充実させたい。

1年間各種事業が多く、会員の皆様にはいろいろとご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご協力ご指導の程宜しくお願い致します。



〔7月4日 グローリーとの合同記者会見〕



〔台中クラブ王陸谷 Y's から熊本地震義援金を受け取る〕

第19回長野東日本区大会へ参加して

富士山部監事 青木 義美

6月3日(金)~5日の3日間にわたり長野若里市民文化ホールを会場に420名の参加者で開催された。(晩餐会は駅前のホテルメルパルクに会場を移した。)

3日は理事杯コンペで栗本、札埜氏、4日は10時半からの代議員会参加で二見会長、池田、そして私青木と、13時までのパナーセレモニーに本体が合流して総勢18名の熱海クラブの参加であった。この人数は次々期栗本東日本区理事を拝命するにあたり十分な人数であったように思える。ちなみに渡辺理事の甲府Cが28名、伊東Cが19名のそれに次ぐ熱海Cの18名は私としてはほんとうにうれしい数である。

開会にあたり森本長野クラブ会長から報告があったが近隣のコーホストクラブの応援があったとはいえホストクラブ総勢12名でのこの大会の運営をされたのには頭の下がる思いであった。見ている総力戦ながらの動きできりもりしている姿には涙さえ出た。真田丸のTVではないが上田城での徳川との攻防の原点はここにあるのかと彷彿させた。大会も晩餐会も順調に終えこの盛り上がりそのまま継続させながら久々の熱海ナイトへと流れた。ここにもメンバー15名も参加してくれ栗本理事誕生に美酒を味わった。このお店に私の高校の後輩がアルバイトでいた事にも「ビックリポン」でもあった。

最終日、青木元国際理事長による引継ぎ式には女性理事としては3人目の第20代東日本区理事の利根川恵子氏(川越C)が就任された。ご主人の太郎氏にエスコートされている

姿が印象的だった、彼女は教育関係の公務員を歴任され晴れてこの日を迎えた訳だがワイズの財産といっても過言ではないくらい社会奉仕の為に生まれてきたような方で次期もとても楽しみたい。

最後に彼女の次期テーマを記して大会報告とさせていただきます。「明日に向かって今日に動こう」今の1歩が明日の1歩であり、明日の為に1歩が今の1歩である。

帰途は後藤メン南海メネ、青木メネと共に真田丸宝物館、上田城跡と真田一色の長野、松代、上田を堪能してきた。

上記に参加名のなかった大川、緒方、鈴木恵、鈴木道、西島、深澤、村上、森、八代、山田修ワイズ、お疲れ(?)様&有難うございました。



〔東日本大会集合写真〕

ご意見募集：鈴木恵次会長は熱烈な読売巨人軍のファンなので本年度熱海クラブの会報はジャイアンツカラーを採用しました。皆様のご意見や記事をお待ちしております。「広報会報委員会」